国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

同時配布　東京大学空間情報科学研究センター

平成 20 年 4 月 30 日
国　土　交　通　省
東京大学空間情報科学研究センター

国土交通地理空間情報プラットフォームの試作版を公開
～　国土、交通、暮らしの情報を地図から　～

国土交通省では、平成 19 年の地理空間情報活用推進基本法の施行とともに地理空間情報の一層の活用を目指しており、同年 5 月に策定した国土交通分野イノベーション推進大綱及び同年 6 月閣議決定の長期戦略指針「イノベーション２５」において地理空間情報プラットフォームの構築に取り組むこととしています。

この取り組みに当たり、省内での検討及び東京大学空間情報科学研究センターと共同研究を進め、プラットフォームの目指すべき姿やロードマップを検討してまいりました。プラットフォームが省内外で幅広く利用されることを目指し、4 月 30 日からインターネット上で地域や環境などに関するサンプルデータを載せた試作版を公開します。

この試作版では、今までそれぞれの部局や施策ごとに個別に公開されてきた情報を電子地図上で重ね合わせて見ることができます。当初の重ね合わせ情報や機能は限られたものですが、皆様の意見からニーズの高い情報や求められる機能等を把握し、今後の拡充の参考にする予定です。背景となる電子地図は、関係部局、地方公共団体等の測量成果をもとに作成した基盤地図情報を利用しており、最新かつ詳細なものに順次更新する予定です。

また、試作版の公開と同時にプラットフォームに関する意見（電子アンケート）を募集します。今後、頂いた意見をもとに地理空間情報の充実やプラットフォームの機能強化を検討します。システムの愛称も募集しております。皆様のご利用をお待ちしております。

ＵＲＬはhttp://www.spat.nilim.go.jp/home/です。

このプラットフォームで利用する基盤地図情報と地図表示のための電子国土Ｗｅｂシステムは国土地理院が、地図にデータを重ね合わせ、集約するシステムは国土技術政策総合研究所が開発しました。

【参考資料】国土交通地理空間情報プラットフォームの目指すべき姿
【参考資料】国土交通地理空間情報プラットフォーム試作版の画面例
【参考資料】国土交通地理空間情報プラットフォーム本格運用へ向けたロードマップ
【参考資料】今回の試作版で公開する重ね合わせ情報
【参考資料】電子国土 Web システム
【参考資料】国土地盤情報検索サイト KuniJiban の概要
【参考資料】基盤地図情報整備について

＜問い合わせ先＞
国土交通省　大臣官房　技術調査課　課長補佐　田中　宏明
代表 03-5253-8111（内線 22345）　直通　03-5253-8125
国土交通省　国土技術政策総合研究所　高度情報化研究センター　情報研究官　小林　亘
代表 029-864-2211（内線 3812）　直通　029-864-3084
国土交通省　国土地理院　地理空間情報部　電子国土調整官　北原　敏夫
代表 029-864-1111（内線 7121）　直通　029-864-6251
東京大学　空間情報科学研究センター　特任講師　関本　義秀
代表 04-7136-4291　直通　04-7136-4313

※　本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス:http://www.mlit.go.jp/）及び東京大学空間情報科学研究センターホームページ（アドレス：http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/）にも掲載しています。

国土交通地理空間情報プラットフォームの目指すべき姿

プラットフォームの目指すべき姿

拡充を予定しているもの

プラットフォーム試作版

・背景地図は、電子国土Webにより最新の情報に更新

・地図上に異なる種類の情報を重ね合わせて表示（現状は、重ね合わせる情報が少ない）

・概要情報の表示と詳細情報へリンク

・重ね合わせ情報の検索（キーワード検索、地図から範囲指定検索）

・表示されている地図に重ね合わされた情報をリスト表示

・背景地図情報の拡充、更新

・重ね合わせ情報の拡充

・地盤情報検索サイト※の統合等プラットフォームを介したデータダウンロードの実現

・画像、面、線データ等の表示

・センサー情報等の自動更新

・重ね合わせ情報の簡単な登録

利用者へのアンケート結果を分析、関係者の評価等も踏まえて、国土交通に関する情報の幅広い共用化や高度な利用が可能となるプラットフォームの目指すべき姿を検討

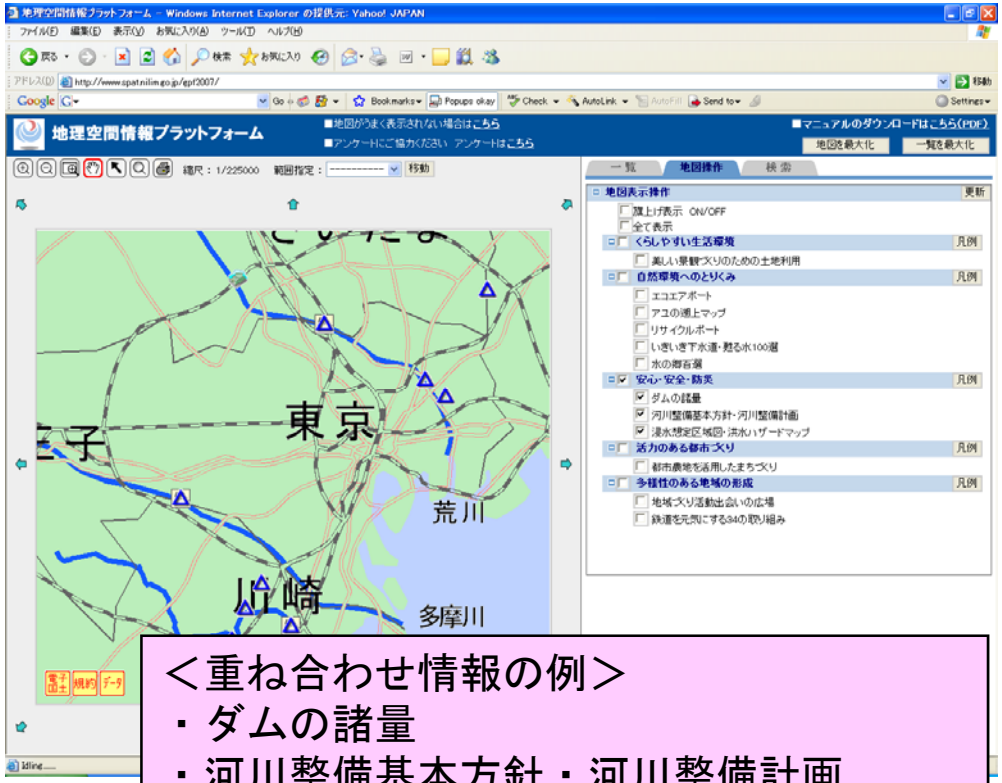
（例）
・使いやすさの向上
・機能の追加

・教育、研究への活用　・新産業創出　・地域活性化等への利活用

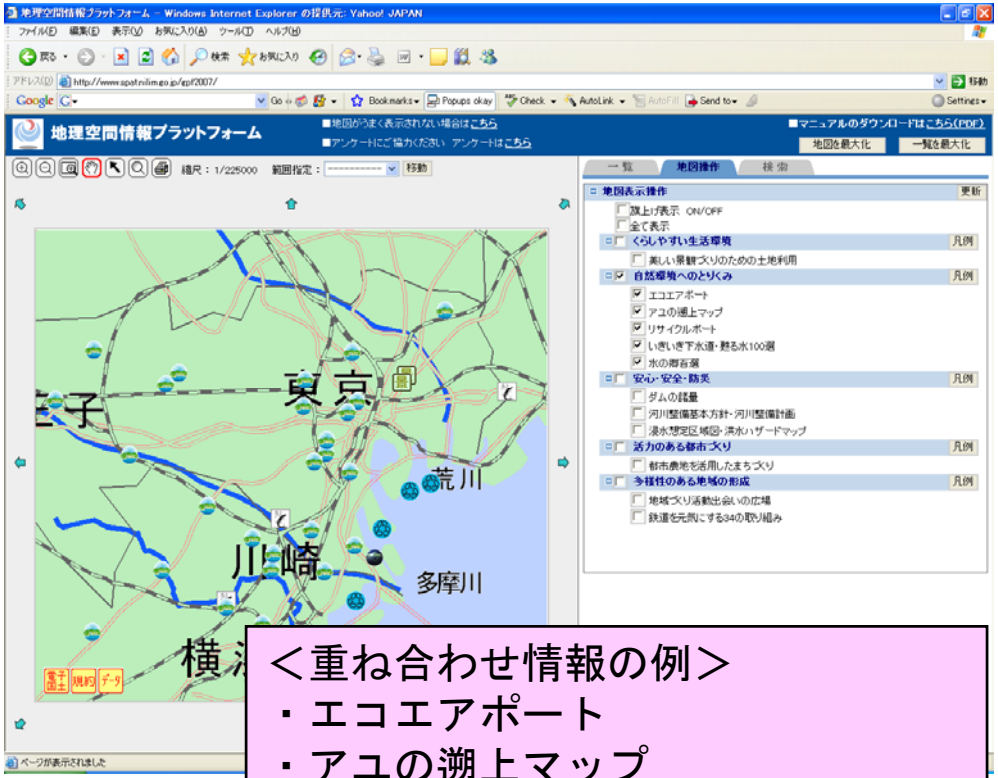
※国土交通省保有のボーリングデータを検索、閲覧、ダウンロードできるサイト

国土交通地理空間情報プラットフォーム試作版の画面例①

部局や施策ごとに個別に公開されてきたデータを電子地図の上でテーマや地域に関連した情報を重ね合わせて見ることができます。



＜重ね合わせ情報の例＞
- ダムの諸量
- 河川整備基本方針・河川整備計画
- 浸水想定区域図・洪水ハザードマップ

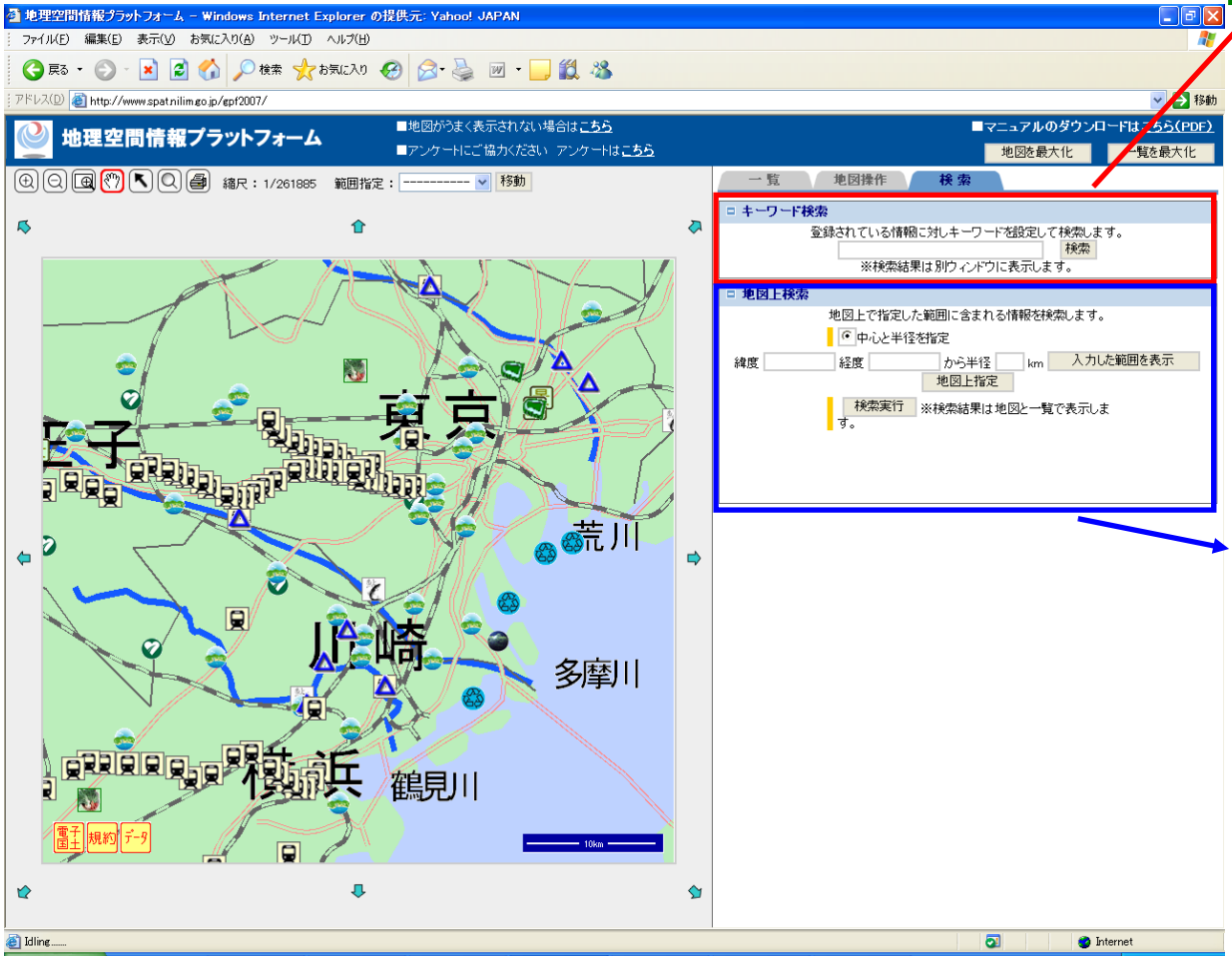


＜重ね合わせ情報の例＞
- エコエアポート
- アユの遡上マップ
- リサイクルポート
- いきいき下水道・蘇る水100選
- 水の郷百選

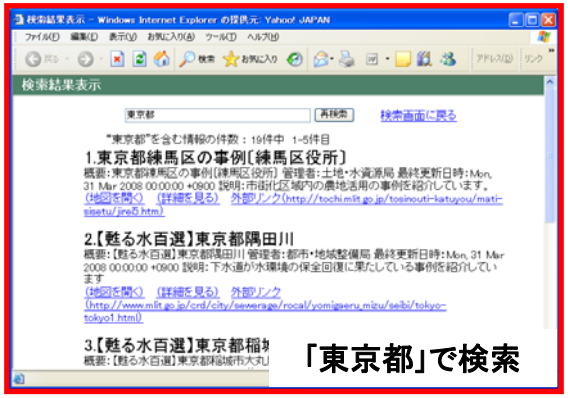
地図操作で表示したい重ね合わせ情報をチェックボックスで選択

国土交通地理空間情報プラットフォーム試作版の画面例②

検索方法は、キーワード検索及び、範囲検索ができます。

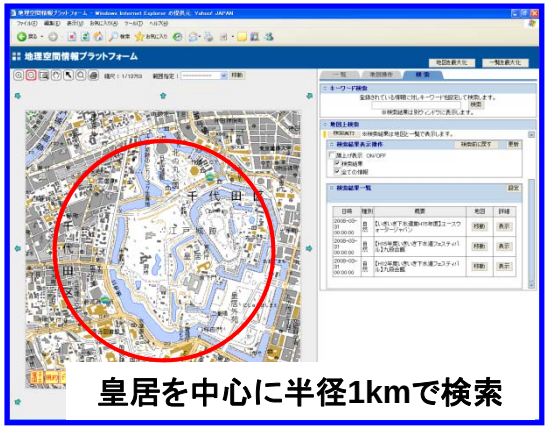


情報検索画面１キーワード検索



「東京都」で検索

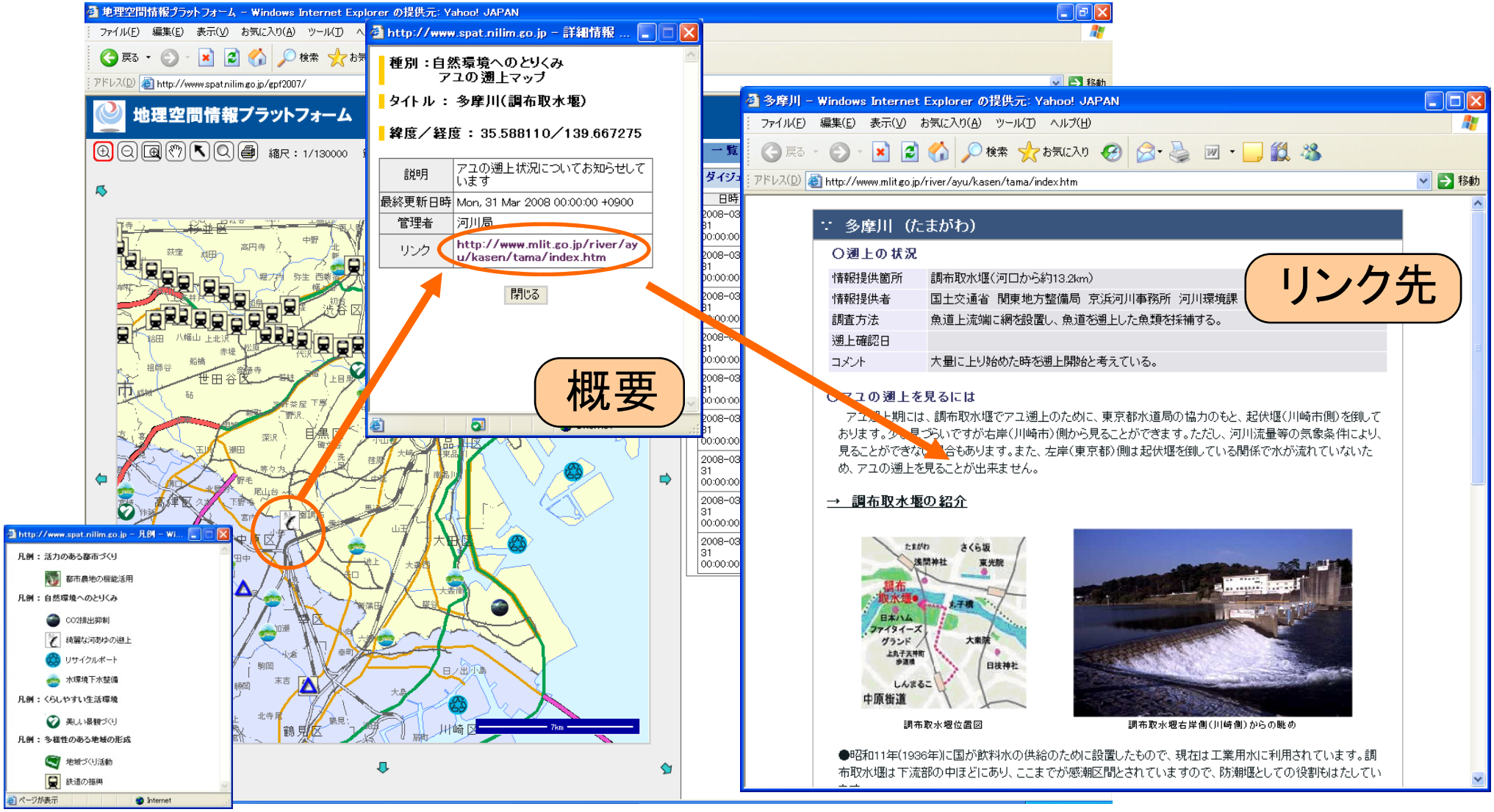
情報検索画面２　範囲検索
特定の地点から半径を指定してその範囲に含まれる情報をピックアップ



皇居を中心に半径1kmで検索

国土交通地理空間情報プラットフォーム試作版の画面例③

アイコンをクリックすることで、その概要を確認できるとともに、リンク先にアクセスすることでより詳細な情報を得ることができます。



国土交通地理空間情報プラットフォーム

本格運用へ向けたロードマップ

ステップ１：プラットフォームの方向性の確立（H19年度）
ステップ２：実験的運用と意見の収集によるプラットフォームの充実（H20～21年度）
ステップ３：本格運用の開始、幅広い普及展開（H22年度～）

ステップ１：方向性の確立（H19）

- プラットフォームの目指すべき姿やロードマップの検討
- システムの試作版（プロトタイプ）仕様の策定
- H20年度初期の試作版公開に向けた国土交通省内の実験参加データの募集・決定

ステップ２：実験的運用（H20-21）

H20年度

- 試作版の公開
- プラットフォームに関する電子アンケートの実施
- アンケートや省内の検討に基づく実運用システムの設計検討開始

・H21年度

- 実運用システムの構築と機能検証
- 社会的効果検証のための地方公共団体・民間等による利活用実験
- 運用ルールや基準類の取りまとめ

ステップ３：本格運用（H22-）

- 省内の登録データの拡充・利活用の普及推進
- 地方公共団体等への展開
- 民間への展開
- システムの増強、高度化

今回の試作版で公開する重ね合わせ情報

テーマ	情報名
くらしやすい生活環境	美しい景観づくりのための土地利用
自然環境へのとりくみ	エコエアポート
	いきいき下水道・蘇る水100選
	リサイクルポート
	水の郷百選
	アユの遡上マップ
安心・安全・防災	ダムの諸量
	河川整備基本方針・河川整備計画
	浸水想定区域図・洪水ハザードマップ
活力のある都市づくり	都市農地を活用したまちづくり
多様性のある地域の形成	地域づくり活動出会いの広場
	鉄道を元気にする34の取り組み

電子国土Webシステム

― 電子国土Webシステムは、電子国土を実現するためのツールです。 ―

- ◆ 所有する地理情報を簡単にホームページで公開！
- ◆ 背景用地図の準備は不要！
- ◆ 電子国土Webシステム及びプラグインの利用は無償！
- ◆ 基盤地図情報の表示が可能！

国土地理院

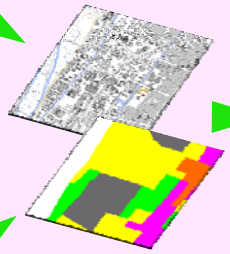
・常に最新の地図データを整備

情報発信者

・防災・減災の情報
・福祉情報
・観光・イベント情報　など

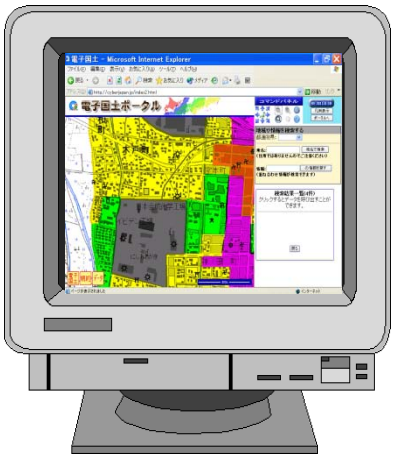
(パソコン・携帯etc.から情報発信ができます。)

地図データ



各種地理情報

地理情報標準(JSGI2.0)に準拠したデータ形式



地理情報を選択すると、自動的に必要な背景地図と重なって表示されます。

背景地図データの特徴

☆ 日本全国シームレスなベクトルデータ
☆ 見る範囲に合わせ、適切な縮尺のデータを表示
☆ 地名検索が可能

作成は簡単

複数のWebサーバーに保存されている地理情報を、自由に選択して表示できるWebサイトが、誰でも手軽に作成できます。
また、多彩な機能は、無料提供している各種サンプル(JavaScript)を利用して設定することができます。

多彩な機能

- ・スクロール
- ・拡大、縮小
- ・座標指定による表示
- ・縮尺指定による表示
- ・シンボル、線、面表示
- ・文字表示
- ・リンク先の属性表示
- ・グラフ(棒・折れ線)表示
- ・距離、面積の計測
- ・座標計測　　ほか

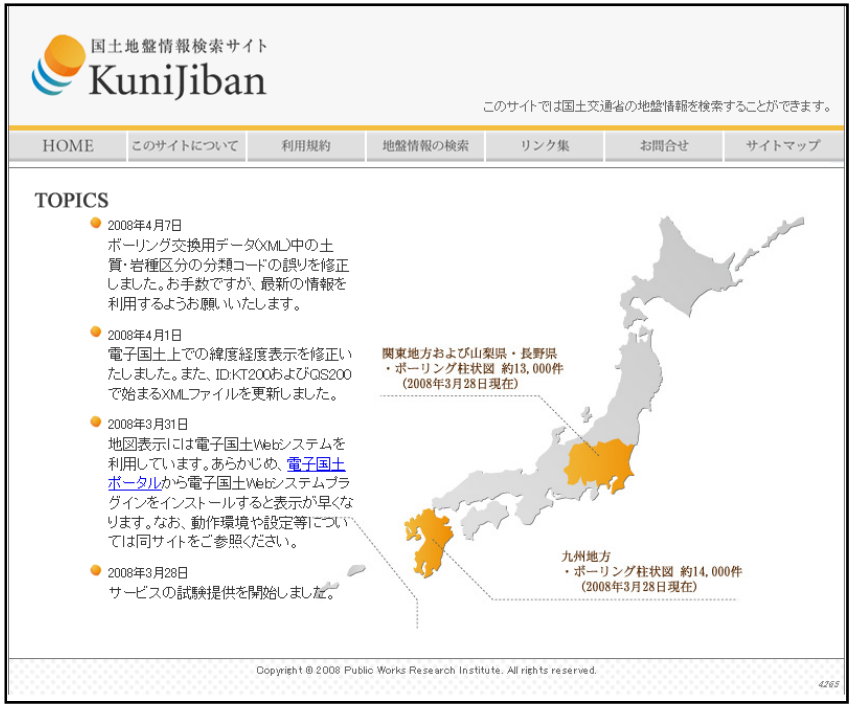
電子国土ポータル　http://cyberjapan.jp/

電子国土事務局　E-mail　sec@cyberjapan.jp

国土地盤情報検索サイト　KuniJibanの概要

http://www.kunijiban.pwri.go.jp

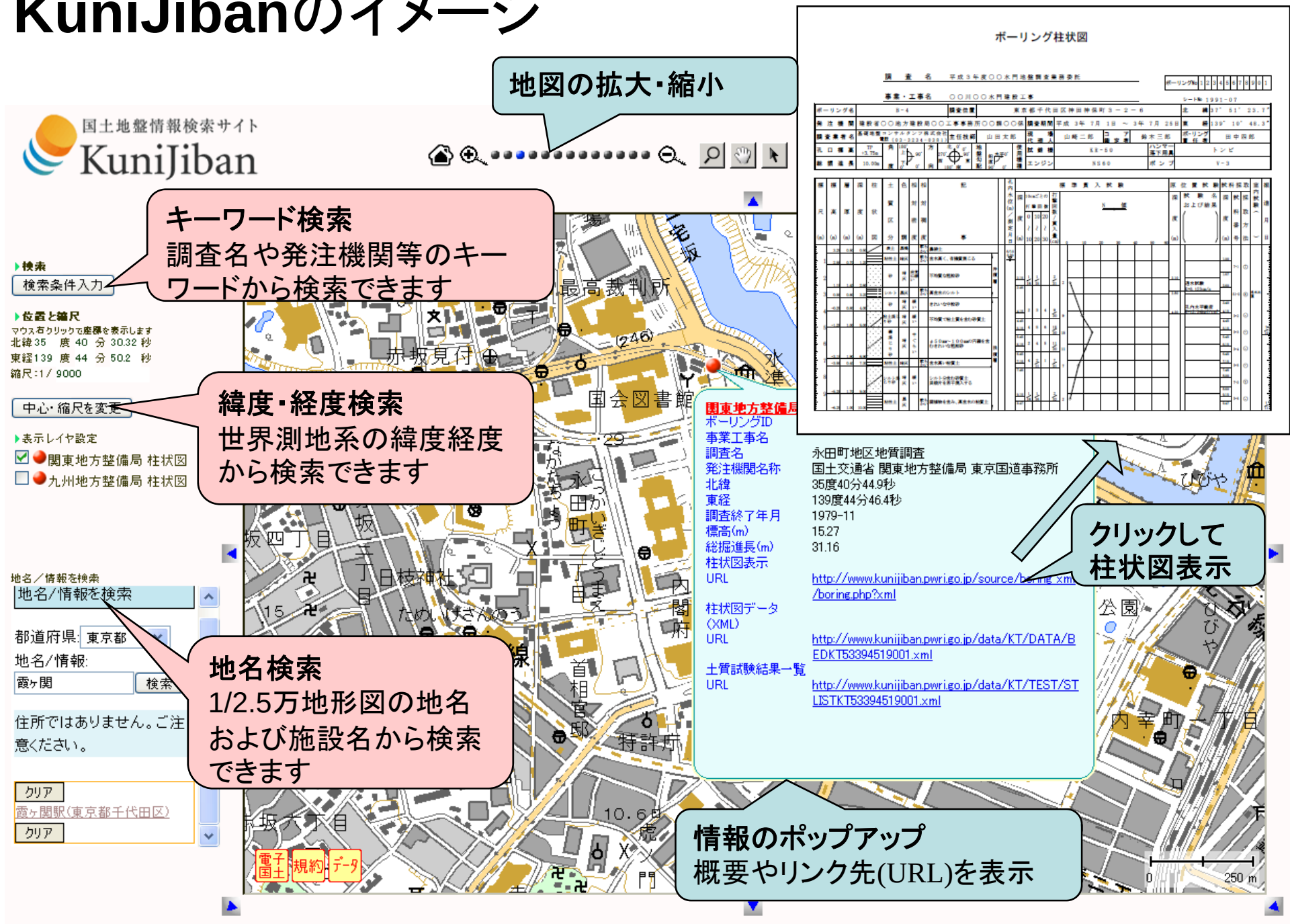
- 国土交通省の保有する地盤情報を検索、閲覧及びダウンロードすることが可能に。
  - ボーリング柱状図と土質試験結果一覧表の提供
  - データ件数約27,000（関東地方整備局と九州地方整備局）
  - 平成20年3月28日から試験提供を開始



閲覧できる地盤情報の種類と主な項目

種類	項目		主な提供項目
ボーリング柱状図	柱状図	標題情報	事業工事名、調査名、調査目的、調査対象、ボーリング名、緯度経度 発注機関、調査期間、調査会社、技術者名、孔口標高等
		コア情報	土質・岩種区分、観察記事、N値、その他孔内試験結果等
土質試験結果	土質試験結果一覧		地点名、緯度・経度、試料番号、採取深度、各種試験結果等

KuniJibanのイメージ

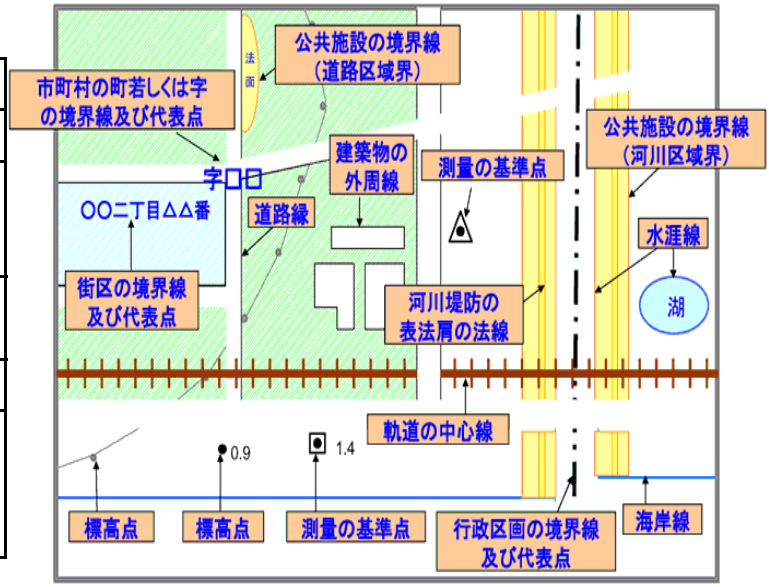


基盤地図情報整備について

基盤地図情報とは、「地理空間情報活用推進基本法」に基づく地理空間情報の位置を定めるための基準となる地図情報で、国土地理院のホームページ「基盤地図情報閲覧・ダウンロードサービス」において、閲覧および無償でのダウンロードが可能です。（http://www.gsi.go.jp/kiban/etsuran.html）

■基盤地図情報の項目

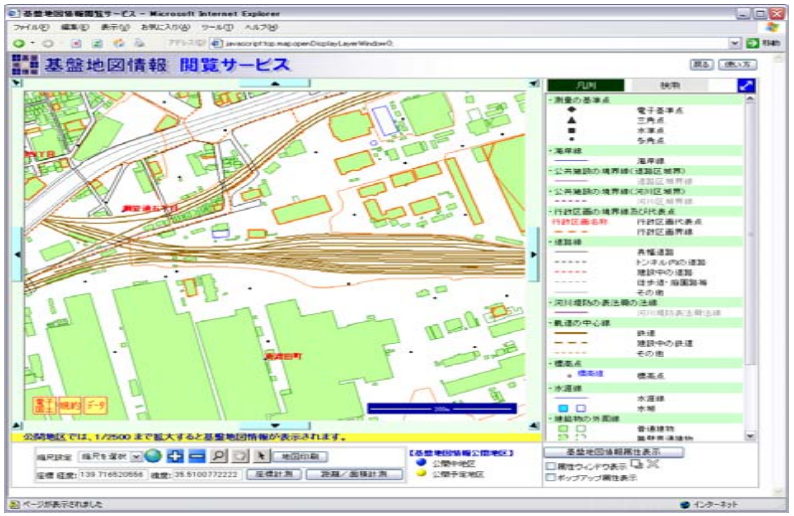
座標値の基準	測量の基準点		
地表の高さの基準	標高点		
面的・線的に画する基礎的なもの	海岸線	公共施設の境界線（道路区域界）	公共施設の境界線（河川区域界）
	行政区画の境界線及び代表点	道路縁	河川堤防の表法肩の法線
	軌道の中心線	水涯線	建築物の外周線
地理識別子	行政区画の境界線及び代表点（再掲）	市町村の町若しくは字の境界線及び代表点	街区の境界線及び代表点



■基盤地図情報の提供

＜ダウンロードサービス＞

＜閲覧サービス＞

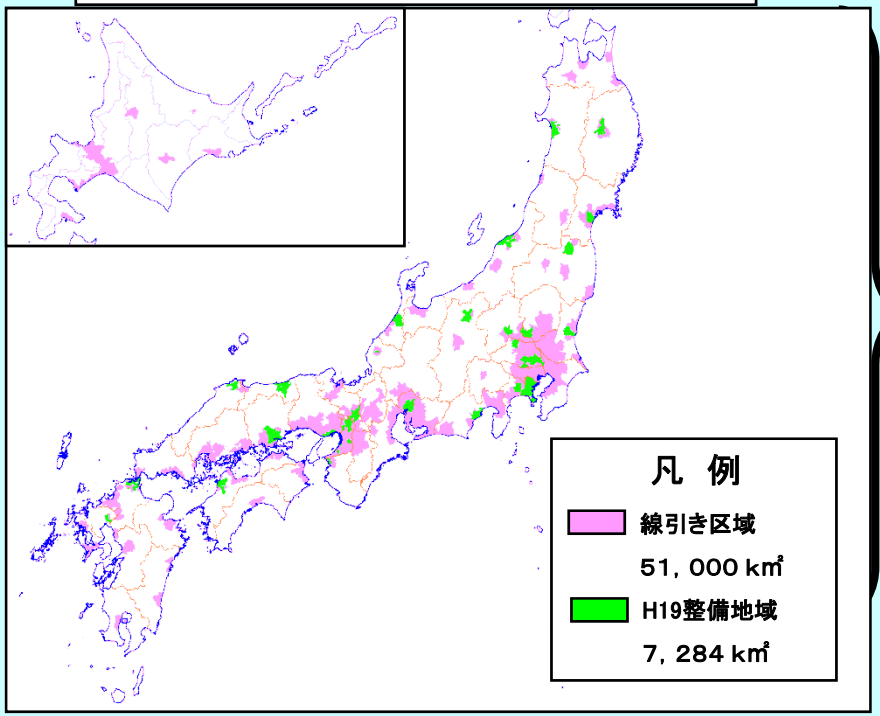


国土地理院の基盤地図情報整備事業計画（H19～H21）

１．基盤地図情報の整備

都市計画基図データ等の公共測量成果を編集処理し、基盤地図情報を整備します。

平成１９年度　基盤地図情報整備地域



平成21年度末までの3年間

●線引き都市計画区域（5.1万平方km）

高精度の基盤地図情報整備を概成

（標高データ、オルソ画像は5.1万平方km を整備）

平成20年4月提供市町村

栃木県（佐野市）、埼玉県（さいたま市、越谷市、深谷市、三郷市、川越市）、神奈川県（川崎市、伊勢原市）

平成20年6月提供予定市町村

岩手県（盛岡市）、秋田県（秋田市）、宮城県（仙台市）、福島県（福島市）、茨城県（水戸市）、栃木県（足利市）、群馬県（前橋市）、埼玉県（所沢市）、神奈川県（厚木市、鎌倉市、茅ヶ崎市、藤沢市、横須賀市）、新潟県（新潟市）、石川県（金沢市）、福井県（福井市）、長野県（長野市）、京都府（京都市）、大阪府（茨木市、吹田市、豊中市、泉大津市、門真市、熊取町、高槻市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、藤井寺市、田尻町）、兵庫県（神戸市）、和歌山県（和歌山市）、鳥取県（鳥取市）、島根県（松江市）、岡山県（岡山市）、愛媛県（松山市）

２．基盤地図情報閲覧・ダウンロードシステムの構築

○平成20年4月1日より提供開始
○平成19年度に整備した基盤地図情報を順次システムへ登録予定

http://www.gsi.go.jp/kiban/etsuran.html